

公共工事目標管理票 令和元年度 公共工事(土木部門)

目標設定段階(当年度当初に記載)				評価段階(次年度に記載)	
区分	環境方針分類	内容	評価指標 (プロジェクト共通)	指標の状況	見直し
公共工事(土木部門)	環境負荷の少ない製品やサービスを利用します	工事ごとの特性、必要とされる強度や耐久性、機能の確保等に留意し、可能な限り「札幌市グリーン購入ガイドライン」で定める品目の調達に努める。	特に積極的な使用を推進する3品目(再生加熱アスファルト、再生骨材、混合セメント使用生コンクリート)については、調達実績を把握し、利用促進を図る。	使用率(平成29年度)は ・再生加熱アスファルト 92.7% ・再生骨材 39.4% ・混合セメント使用生コン 88.5% であった。	現行の指標を継続する。 (毎年の使用実績の把握を通じて利用促進を図る。)
			建設発生土について、目標とする有効利用率を80%以上とする。	利用率は98.0%となり、目標を達成した。	現行の指標を継続する。
			建設発生木材について、目標とする再資源化率を95%以上とする。	再資源化率は99.4%となり、目標達成を達成した。	現行の指標を継続する。
			建設汚泥について、目標とする再資源化率を82%以上とする。	再資源化率は91.3%となり、目標を達成した。	現行の指標を継続する。

公共工事目標管理票 令和元年度 公共工事(建築・設備部門)

目標設定段階(当年度当初に記載)				評価段階(次年度に記載)	
部門	環境方針分類	内容	評価指標 (プロジェクト共通)	指標の状況	見直し
公共工事 (建築・設備部門)	3 環境負荷の少ない製品やサービスの利用を推進します	工事毎の特性、必要とされる強度や耐久性、機能の確保等に留意し、可能な限り「札幌市グリーン購入ガイドライン」で定める品目の調達に努める	特に積極的な使用を推進する5品目(断熱サッシ・ドア、断熱材、照明制御システム、自動水栓、自動洗浄小便器)については、調達実績を把握し、利用促進を図る	調達実績断熱サッシ・ドア100%、断熱材99.9%、照明制御システム100.0%、自動水洗100%、自動洗浄小便器100.0%	引き続き現行の目標を継続する
	4 事務事業のみならず、公共工事・委託業務における環境負荷を低減します	公共建築物における環境負荷を低減する	「札幌市公共建築物環境配慮ガイドライン」公共建築物環境配慮チェックリストの点数達成率95%以上	チェックリスト点数達成率99.6%であり、目標達成	引き続き現行の目標を継続する

公共工事目標管理票 令和元年度 公共工事(雪対策部門)

目標設定段階(当年度当初に記載)				評価段階(次年度に記載)	
区分	環境方針分類	内容	評価指標 (プロジェクト共通)	指標の状況	見直し
公共部門 (雪対策部門)	省エネルギーの取組及び 新エネルギーの導入を推進 します。	自動車から排出される二酸化 炭素の削減に努める。	市街地内の公共用地・民有地・小学校 グラウンドなどを雪置き場として活用し、 運搬排雪時に雪処理施設に搬入するダ ンプトラックの走行回数の削減を図る。	縮減台数 (R1) 8,954台	
		雪対策施設の稼働時に使用 するエネルギーの削減に 努める。	ロードヒーティングを停止して、冬期道 路の路面管理手法を、除排雪作業等の 強化に変更する。	累計停止面積 (H10~R1) 100,597m2	
	環境負荷の少ない製品や サービスの利用を推進しま す。	除雪車から排出される二酸化 炭素の削減に努める。	札幌市が保有する除雪車について、低 公害除雪車の導入促進を図る。	累計導入台数 (~R1) 407台	